



いっぽんぎ

今日が楽しく

明日が待ち遠しくなる学校

- かんがえる子 (知)
- おもいやりのある子 (徳)
- たくましい子 (体)

回 覧

滝沢市立一本木小学校
令和8年10月15日
第12号 文責：亀 丸

運動会 ありがとうございました

9月19日(土)に運動会を開催いたしました。運動会準備から開会式の時間にかけて雨が降り、とても天気が心配されましたが、その雨を降らせた雨雲が抜けると、強い日差しが差し込み暑さを感じさせるほど良い天気になりました。子ども達の願いが天に届いたようです。

9月に入り雨の日が多く子ども達は十分に練習することができませんでした。それでも本番では競技に応援に全力で取り組み、「自分の頑張るところ」でたくさん輝く姿を見せていました。

競技の部では、白組333点、赤組257点で白組の優勝、応援の部では4対1で赤組が応援賞をとりました。「仲間がいるから競技ができる」、「相手がいるから戦うことができる」のとおり、閉会式後は互いの健闘をたたえ合い、運動会終了後もすがすがしい表情をしていました。

ご来賓の皆様や保護者の皆様、たくさんの地域の皆様の声援をいただきました。大変ありがとうございました。また、PTA校外指導部の皆様には、開会前の早い時間帯にあの雨の中、車の駐車誘導を行っていただきました。また、保護者の皆様には運動会終了後の後片付けもご協力いただきました。おかげさまで感動の多い思い出深い運動会になりました。



1年生のかわいらしい開会式で運動会が始まりました。
この時はまだ心配な天気でした。

赤白応援団長による選手宣誓。
堂々とした2人の姿に、6年生の成長を感じました。



入学して半年、あきらめずに最後まで走る1年生。

力強く走る6年生。「負けない」という気迫を感じます。



低学年のチェッコリ玉入れ2026。踊りはかわいらしく、勝負も片付けも全力で。

高学年のチャグボン綱引き2026。保育園側が勝つというジンクスが破られました。





応援賞をとった赤組応援団。
声の大きさやふりが揃った応援
が魅力的でした。

白組応援団。
力強さと勇ましさを感じる応援が魅
力的でした。



赤白両応援団長の感想

「運動会を終えて」

赤組応援団長 6年 中山 大聖

ぼくは、どうしても応援団長になりたかったので、応援団長に選ばれた時はとてもうれしかったです。

応援団のみんなと練習の時から応援賞を目指してがんばりました。

本番では、応援歌の歌詞やエールの手のふり方をミスしないようにがんばりました。ぼくの声がみんなに届いてみんなの力になればいいなと思いました。

応援賞が決まった時に旭さんと抱き合って喜びました。心に残った運動会でした。

「運動会を終えて」

白組応援団長 6年 八幡 溪人

ぼくは、本番までに腹から声を出すということを意識して練習に臨んできました。

いよいよ本番、会場にはたくさんのお客さんがいました。開会式の選手宣誓、赤組応援団長の中山大聖君とアイコンタクトをしてお互い声をそろえることができました。競技のときには、「赤組なんかに負けないぞ。」という気持ちで応援しました。結果発表。白組333点、赤組257点で白組が勝ちました。応援賞はとることができなかったけど白熱した運動会でした。

児童用の机といすが新しくなりました

子ども達は自分の机といすを大切に使用していましたが、経年劣化に伴い座っている時に体を動かすとギシギシと音がするようになっていました。机やいすを新しいものに更新できたと思っていたところ、今年度『防衛省交付金事業』により、全校児童の机といすが新しくなりました。



新しい机といすも身長に合わせて高さが調節できるものです。また、以前の座面はプラスチック製で冬場などは静電気が起こることがありましたが、新しいものは木製の座面で少し広く、とても温かみがある上に静電気が起きにくいものになっています。さらに机の横にあるフックがスライド式になっていて、必要のない時はしまわることができるようになっていました。子ども達は新しい机で学習することをとても喜んでいました。大変ありがとうございました。